

行政情報システム再構築に関する開発手法の調査・検討支援業務 企画提案選定評価シート

所属 ( ) 評価者氏名 ( )

評価項目		作成方法及び評価指標	審査ポイント	係数	配点	
1	基本方針	目的に対する基本方針	仕様書1(2)に記載した本委託業務の目的に対し、具体的な基本方針を提案してください。	2	5	
2	実施体制	(1) 会社の実績	会社として、過去5年間に、国、都道府県、政令市又は東京都特別区において、本件に類似した業務の実施経験受託した類似案件の実績を記載してください。	企画提案説明書6(4)に記載したとおり、参加資格要件である実績数2件を普通点(3点)とし、それ以上の件数の場合は実績に応じ採点する。	1	5
		(2) 実施体制及び担当実績	本委託業務を担当する要員の実施体制(要員の役割を含む。)を記載してください。 要員ごとに、国、都道府県、政令市又は東京都特別区における類似業務の担当実績(契約の相手方、業務内容、期間等)や本業務の円滑な遂行のために有効な資格等を保有している場合は記載してください。	企画提案説明書6(5)及び仕様書3(5)に記載のとおり、統括責任者がPMP®(PMI本部)又はプロジェクトマネージャー(IPA)の資格を有しており、かつ、統括責任者及びプロジェクトリーダーは過去5年以内に本業務の対象範囲となる業務システムのコンサルティングに携わった経験を有していた場合に普通点(3点)とし、本委託業務を担当する上で有用と思われる他の資格(ITストラテジスト(IPA)等)を保有している場合は保有数等に応じ採点する。	1	5
		(3) 本市との役割分担	本市との業務役割分担について記載してください。	本市との役割分担が明確にされており、本市の負担軽減が十分に考慮されているか。	1	5
3	業務支援	(1) 事業概要	仕様書2(1)に記載した、再構築に向けての現行内部事務の可視化や課題の改善点のための手法等について、具体的に提案してください。	再構築に向けての現行内部事務の可視化や課題の改善点のための手法等について、具体的かつ明確に示されているか。 また、その手法等が、類似業務への参画実績等に基づき実現性があり、効果的であることが理由・根拠とともに示されているか。	2	5
		(2) スケジュール	当業務に関するスケジュールについて、具体的に提案してください。 なお、スケジュールについては、今年度の業務だけでなく、令和6年度に予定しているシステムの要件定義等の業務委託にも影響があるため、令和6年度についても併せて提案してください。	当業務委託及び令和6年度のスケジュールについて、具体的かつ明確に示されており、現実的なものとなっているか。 また、そのスケジュールが、類似業務への参画実績等に基づき実現性があり、効果的であることが理由・根拠とともに示されているか。	1	5
		(3) 業務改革	仕様書3(2)に記載した業務改革提案について、当業務を実施するに当たり、どのような業務改革を考えられるか、現時点で貴社が想定している内容を提案してください。	当業務委託を実施するに当たり想定される業務改革について、本市として有用なものとなっているか。 また、その内容が、類似業務への参画実績等に基づき実現性があり、効果的であることが理由・根拠とともに示されているか。	1	5
		(4) 行政情報システム再構築の手法等	仕様書3(2)に記載した次期行政情報システムの再構築の手法等(個別システムの調達・デジタルワークフローの利用・パッケージ導入・クラウド利用など)について、現時点で貴社が想定している内容を提案してください。	示された手法等について、明確かつ現実的なものとなっているか。 また、類似業務への参画実績等に基づき実現性があり、効果的であることが理由・根拠とともに示されているか。	1	5
		(5) 国の施策を踏まえた提案	行政手続のオンライン化(電子公印・電子請求等)やデータ利活用の推進などを踏まえ、本業務を進める上での工夫等について提案してください。	デジタル・ガバメント計画等の国の施策や、DXの動向などを踏まえた提案となっているか。 また、今後の情勢の変化に柔軟に対応できるような方法が示されているか。	1	5
4	その他	自由提案	仕様書記載事項以外に、貴社として提案できることを記載していただくとともに、その効果も含めて自由に記載してください。	仕様書に記載されている以外の提案となっているか。 また、その内容について、類似業務への参画実績等に基づき実現性があり、効果的であることが理由・根拠とともに示されているか。	1	5
合計					60	

- ・ 採点は次のとおり、5段階評価で行います。  
5点：とてもよい 4点：よい 3点：普通 2点：やや悪い 1点：悪い
- ・ 各評価項目における配点は、基礎点5点に対し、係数を乗じて算出します。
- ・ 評価委員の配点(60点満点)× 評価委員数(7名)で評価します(420点満点)。
- ・ 合計点数が満点の60%に満たない場合や、複数の評価委員から3点を下回る評価項目がある場合には、受託候補者として選定されません。
- ・ 同点の場合は、見積書に記載した金額が低い方を契約候補業者として特定します。  
それでも決定しない場合は、プロポーザル評価委員会の審議により業者を決定します。